

| | |
|--------------------|---------------------|
| ApeosPort-VI C7771 | DocuCentre-VI C7771 |
| ApeosPort-VI C6671 | DocuCentre-VI C6671 |
| ApeosPort-VI C5571 | DocuCentre-VI C5571 |
| ApeosPort-VI C4471 | DocuCentre-VI C4471 |
| ApeosPort-VI C3371 | DocuCentre-VI C3371 |
| ApeosPort-VI C2271 | DocuCentre-VI C2271 |

はじめにお読みください

- 本機をお使いになる際に..... 2
- マニュアル体系..... 3
- 安全にご利用いただくために..... 4
- 規制について..... 17
- SDS (Safety Data Sheet) の提供について..... 20
- 環境について..... 24
- 法律上の注意事項..... 25
- 注意制限事項について..... 26

Microsoft、Windows、および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 Adobe、PostScript、および PostScript 3 は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の商標です。
 その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。ただし、本機をご利用いただくために本書を参照する場合に限り、本書を複製することができます。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねるがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
 また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

Xerox、Xerox ロゴ、Fuji Xerox ロゴ、および CentreWare は、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。
 ApeosWare および DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

本機をお使いになる際に

機械管理者の User ID とパスワードは、本機の設置後すぐに変更することをお勧めします。

補足

- 設定方法については、『管理者ガイド』 > 「仕様設定」 > 「認証 / セキュリティ設定」 > 「機械管理者情報の設定」を参照してください。

マニュアル体系

本機には、次のマニュアルを用意しています。

本機同梱マニュアル

■はじめにお読みください

安全にお使いいただくための注意事項や、操作中に気をつけていただきたい注意制限事項などについて説明しています。必ずお読みください。

■マニュアルの種類と見方 / これだけ読めば使えます

本機をはじめてご使用になる方を対象に、マニュアルの種類と見方や、機械の電源、コピー / ファクス / プリント / スキャンの基本的な操作、消耗品の交換、エラーコードの対処方法を説明しています。

■わんぼいんとアドバイス

ちょっとしたことでトラブルが防げて、快適にお使いいただけます。お使いになる前にご覧ください。

■ソフトウェア / 製品マニュアル (DVD)

このメディアには、はじめにお読みください、使い方がわかる本、設定がわかる本、ユーザーズガイド、管理者ガイド、セキュリティ機能補足ガイド、他ドライバヘルプ・マニュアル、オプション製品マニュアル・ヘルプが格納されています。

製品の機能や操作の詳しい説明については、メディア内の製品マニュアルをご覧ください。

本体 / ソフトウェアから直接見られるヘルプ

■本機本体のヘルプ

プリンタードライバーのインストール手順、プリンターの環境設定方法などについて説明しています。コピー、ファクス、スキャン、プリント、日常管理、宛先設定で、お問い合わせの多い項目を説明しています。メニュー画面の [ヘルプ] から見ることができます。

■プリンタードライバーのヘルプ

プリントの操作方法や、機能などについて説明しています。

■CentreWare Internet Services のヘルプ

コンピューターのブラウザから本機への各種設定や、スキャン文書を取り込む操作などについて説明しています。

オプション製品マニュアル

本機ではオプション製品を用意しています。オプション製品には、取扱説明書が同梱されているものがあります。

オプション製品マニュアルでは、オプション製品の操作方法、ソフトウェアのインストール手順などについて説明しています。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた製品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

⚠ 警告

新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、担当のサービスセンターへお問い合わせください。

各警告図記号は以下のような意味を表しています



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



静電気 破損



注 意



発火注意



破裂注意



感電注意



高温注意



回転物注意



指挟み注意

⊘記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



禁止



火気禁止



接触禁止



風呂等での
使用禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

●記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



指 示



電源プラグ



アース線を
接続せよ

電源およびアース接続時の注意

警告



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため機械の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 850mm 以上地中に埋めたもの
- 接地工事 (D 種) を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管 (引火や爆発の危険があります。)
- 電話専用アース線および避雷針 (落雷時に大量の電流が流れる場合があります危険です。)
- 水道管や蛇口 (配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

アースとの接続が不十分な場合、感電の原因となるおそれがあります。



万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、機械には D 種以上の接地工事を必ず実施してください。



電源コードは、機械近くのアースが確実に取れるコンセントに、単独で差し込んでください。延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となるおそれがあります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。



機械の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。機械の定格電圧値および定格電流値は、機械背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。



電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となるおそれがあります。



電源コードにものを載せないでください。



電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。発火、感電のおそれがあります。また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源コードが傷んだら (芯線の露出、断線)、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となるおそれがあります。



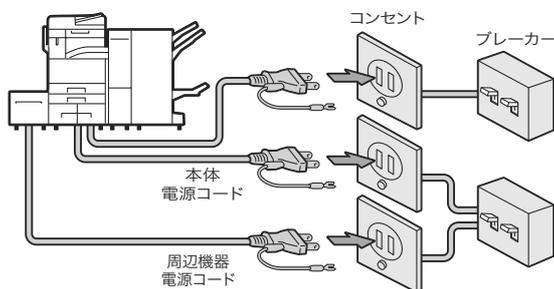
(ApeosPort-VI C7771/C6671、DocuCentre-VI C7771/C6671 のみ)

本機は 2 本の電源コードを使用しています。本機の電源供給を完全に停止するためには、すべての電源コードを抜く必要があります。



(ApeosPort-VI C7771/C6671、DocuCentre-VI C7771/C6671 のみ)

本機の電源容量は、電源コード毎に 13A、7A です。それぞれの電源コードは配電盤のブレーカーが独立している別の電源に接続してください。同じ配電盤のブレーカーにつながっているコンセントに接続するとブレーカーが遮断するおそれがあります。周辺機器は配電盤のブレーカーの容量を確認し、本体とは別のコンセントに接続してください。



⚠ 注意



機械の清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに機械の清掃を行うと、感電の原因となるおそれがあります。



機械の電源スイッチを入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。アークによりプラグが変形し、発熱による火災の原因となるおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っばるとコードが傷つき、火災、感電の原因となるおそれがあります。



連休などで長期間、機械（ファクシミリ機能など）をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。なお電源スイッチを切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。



1 か月に一度は機械の電源スイッチを切り、次のような点検をしてください。

- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか。
- 電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどはないか。
- 電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていないか。
- 電源コードにきれつや擦り傷などがないか。

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください

設置時の注意

警告



機械は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。

注意



以下のような場所には機械を設置しないでください。

- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど



機械の包装に使用している袋 / シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息するおそれがあります。



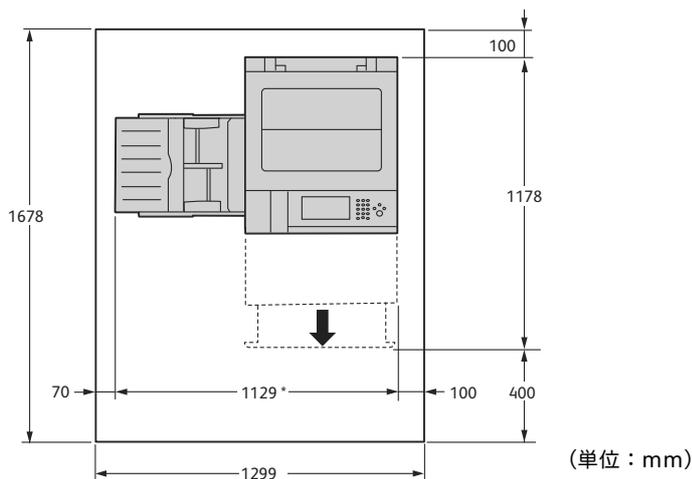
機械は、付属製品を含めた総質量に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。機械の転倒などによりケガの原因となるおそれがあります。



機械には通気口があります。機械の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となるおそれがあります。

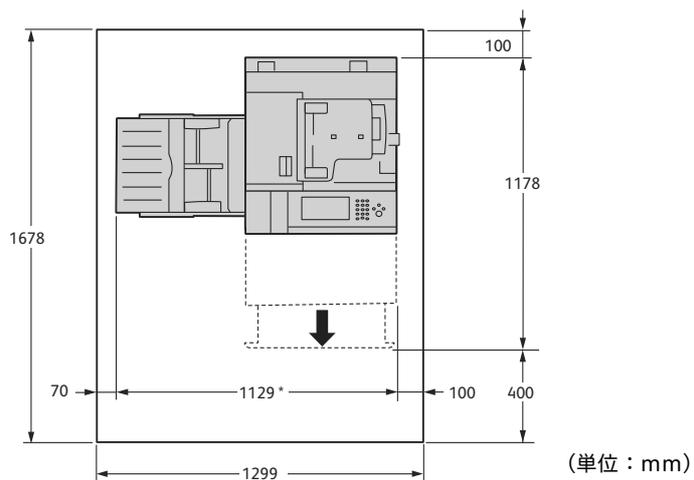
機械を安全に正しく使用し、機械の性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。また、機器の異常状態によっては、電源プラグをコンセントから抜いていただくことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

- 本体に原稿カバーを装着したとき



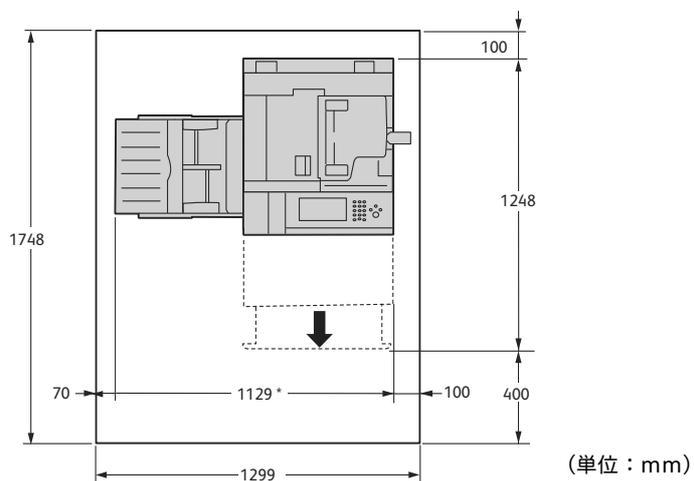
*: 紙づまり対処時

• 本体に自動両面原稿送り装置 B1-PC を装着したとき



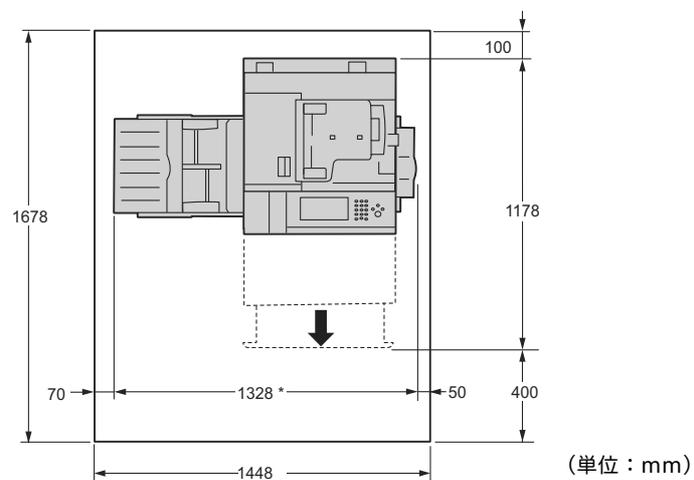
*: 紙づまり対処時

• 本体に自動両面原稿送り装置 C1-PC を装着したとき



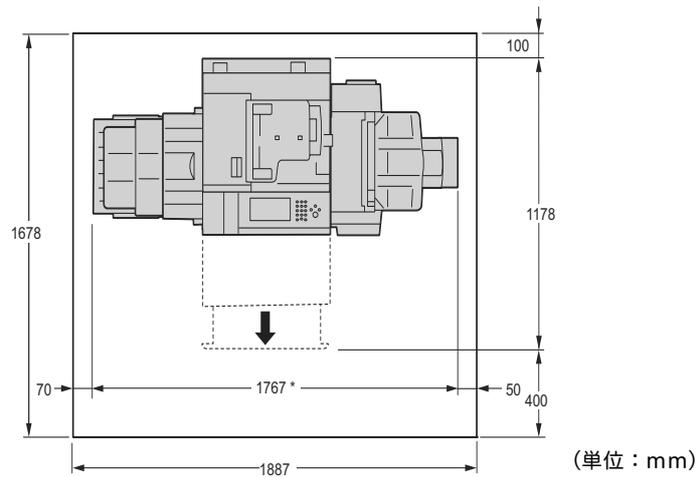
*: 紙づまり対処時

• 本体にフィニッシャー A2 (オプション) を装着したとき



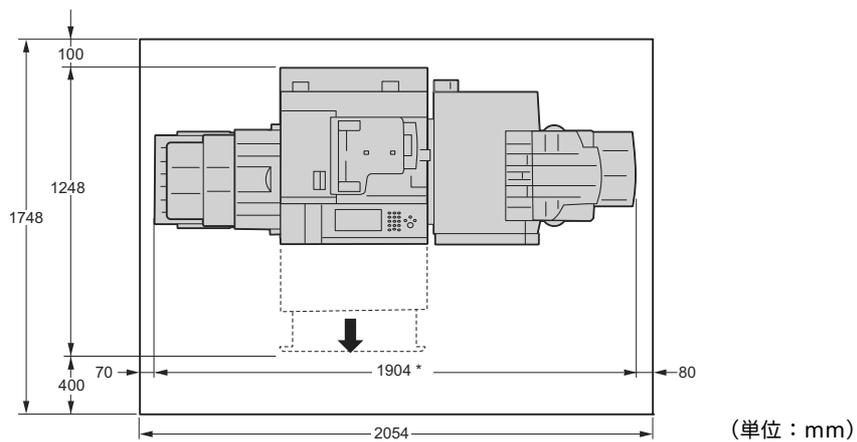
*: 紙づまり対処時

- 本体にフィニッシャー B1 (オプション) とサイドトレイ (オプション) を装着したとき



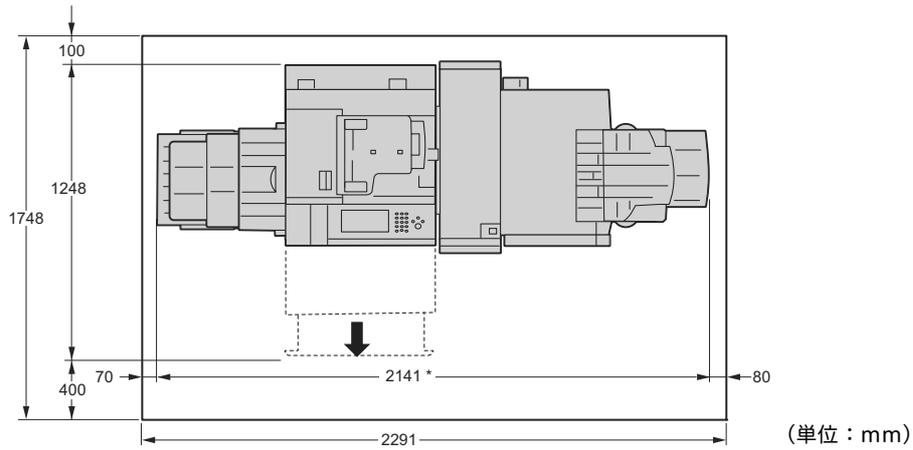
*: 紙づまり対処時

- 本体に自動両面原稿送り装置 C1-PC、中とじフィニッシャー C3 (オプション)、サイドトレイ (オプション) を装着したとき



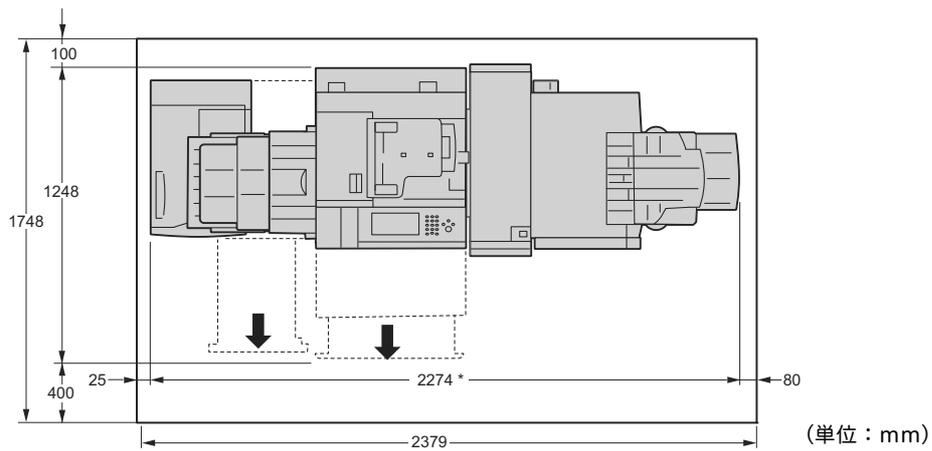
*: 紙づまり対処時

- 本体に自動両面原稿送り装置 C1-PC、中とじフィニッシャー C3 (オプション)、紙折りユニット CD1 (オプション)、サイドトレイ (オプション) を装着したとき



*: 紙づまり対処時

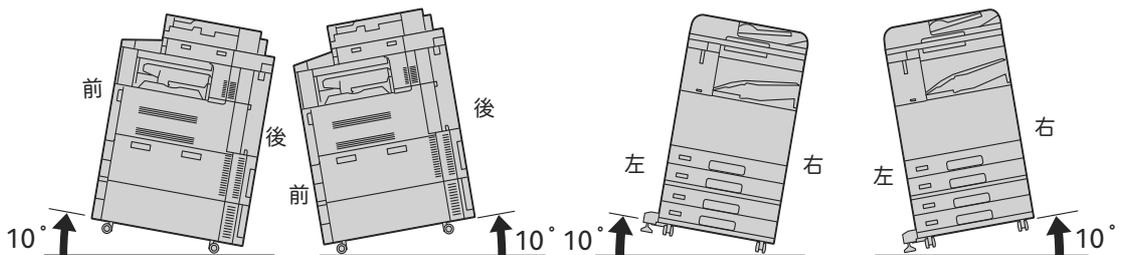
- 本体に自動両面原稿送り装置 C1-PC、中とじフィニッシャー C3 (オプション)、紙折りユニット CD1 (オプション)、大容量給紙トレイ (オプション)、サイドトレイ (オプション) を装着したとき



*: 紙づまり対処時

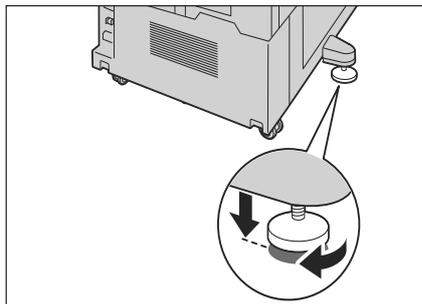
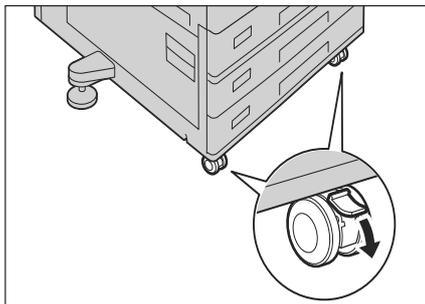


機械を 10 度以上に傾けないでください。転倒などによるケガの原因となるおそれがあります。





機械を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。ストッパーをロックしないと、機械が思わぬ方向に動き、ケガの原因となるおそれがあります。



機器の電線やケーブルを束ねるためにケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外のご使用は事故の原因となる場合があります。

その他



本機器の使用環境は次のとおりです。

- 温度：10～32℃
- 湿度：15～85%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。

機械使用上の注意

警告



本機同梱マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。



この機械はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となるおそれがあります。



次のようなときにはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となるおそれがあります。

- 機械から発煙したり、機械の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 機械の内部に水が入ったとき
- 機械が水をかぶったとき
- 機械の部品に損傷があったとき



機械の隙間や通気口に物を入れないでください。また、以下のものは、機械の上に置かないでください。

- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと機械内部がショートし、火災や感電の原因となるおそれがあります。



電気を通しやすい紙（折り紙 / カーボン紙 / 導電性コーティングを施された紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となるおそれがあります。



機械の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。



トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをするおそれがあります。



付属のメディア（CD-ROM、DVD 等）をメディア対応機器以外では絶対に使用しないでください。大音響により耳に障害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

注意

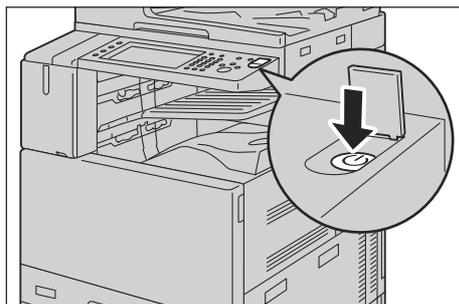


機械の安全スイッチを無効にしないでください。機械の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。機械が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となるおそれがあります。

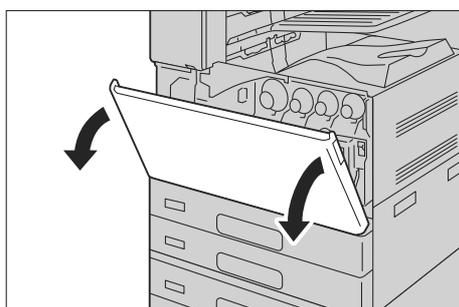


機械の本体には漏電ブレーカーが付いています。機械に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態にしておきます。1 か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを確認してください。異常などがある場合は弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店までご連絡ください。なお、漏電ブレーカーの確認手順は以下のとおりです。

1. 電源スイッチを押して、電源を切ります。



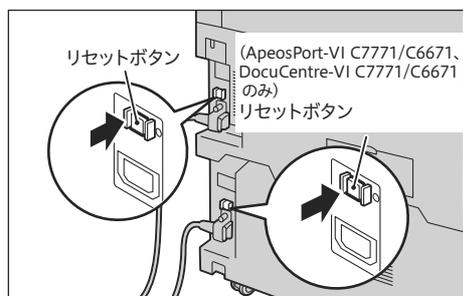
2. タッチパネルディスプレイ画面が消えていることと、〈節電〉ボタンが消灯していることを確認します。
3. 正面カバーを開けます。



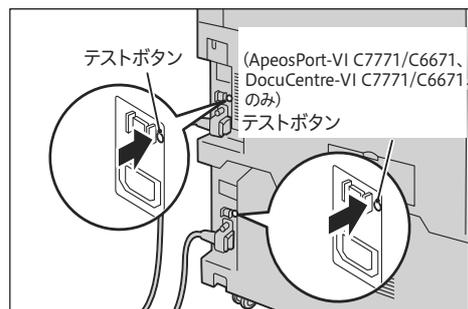
4. 主電源スイッチの [○] 側を押して、主電源を切ります。



5. ブレーカーの〈リセット〉ボタンを押し込みます。このとき、〈リセット〉ボタンから手を離しても、〈リセット〉ボタンが押し込まれたままの状態となります。
ApeosPort-VI C7771/C6671、DocuCentre-VI C7771/C6671 のみ、2 か所の〈リセット〉ボタンがあります。



6. ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていた〈リセット〉ボタンが解除され、突き出ます。これで確認は終了です。
ApeosPort-VI C7771/C6671、DocuCentre-VI C7771/C6671 のみ、2 か所のテストボタンがあります。



7. 再度、〈リセット〉ボタンを押して、〈リセット〉ボタンを押し込んだ状態に戻します。



機械内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となるおそれがあります。ただちに電源スイッチを切り、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となるおそれがあります。



詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。



まれに排出された用紙に針くずが付着される場合がありますので、指などにケガをしないように十分にご注意ください。



安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが働いて、機械は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、機械は作動状態になり、ケガの原因となることがあります。



換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。



穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となるおそれがあります。



書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となるおそれがあります。



機械を移動するときは、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



イヤホンを使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎると難聴の原因となります。

消耗品取り扱い上の注意

警告



消耗品は、箱やボトルにある説明に従って保管してください。



こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。

本製品内およびトナーカートリッジ、トナー回収ボトル等に付着したトナーを電気掃除機で吸引することもおやめください。

掃除機を用いると、掃除機内部のトナーが、電気接点の火花などにより、発火または爆発するおそれがあります。

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らした布などで拭き取ってください。

大量にこぼれた場合、弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



トナーカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。トナーカートリッジに残っているトナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナーカートリッジは弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。



トナー回収ボトルは、絶対に火中に投げないでください。トナーが発火または爆発する可能性があり、火傷のおそれがあります。使い終わった不要なトナー回収ボトルは、弊社にて回収いたしますので、必ず弊社カスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。

注意



ドラムカートリッジやトナーカートリッジは幼児の手が届かないところに保管してください。幼児がトナーを飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談し指示を受けてください。



ドラムカートリッジやトナーカートリッジを交換する際は、トナーが飛散しないように注意してください。また、トナーが飛散した場合は、トナーが皮膚や衣服に付いたり、トナーを吸引したり、または目や口に入らないように注意してください。



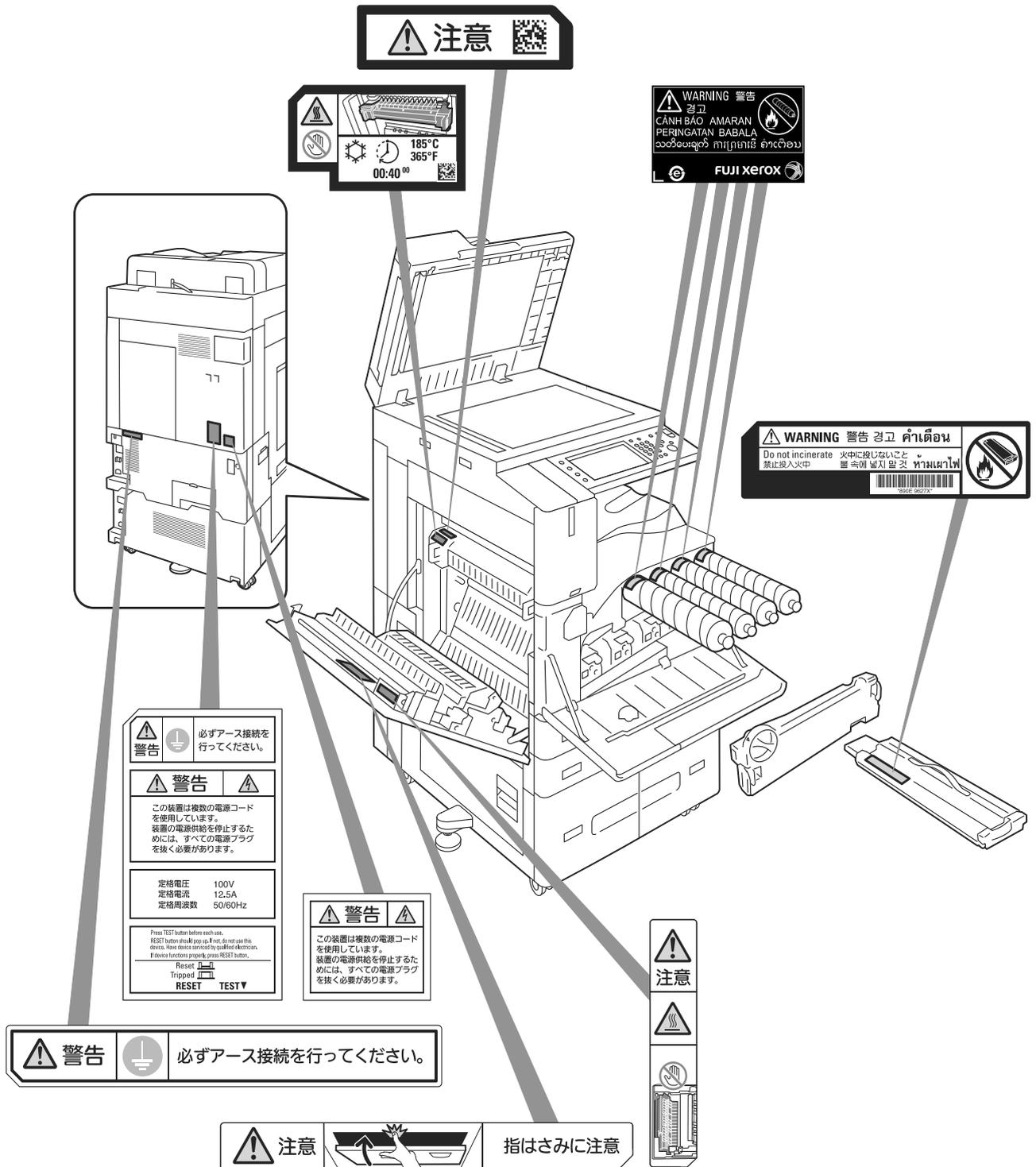
次の事項に従って、応急処置をしてください。

- トナーが皮膚や衣服に付着した場合は、石けんを使って水でよく洗い流してください。
- トナーが目に入った場合は、目に痛みがなくなるまで 15 分以上多量の水でよく洗い、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- トナーを吸引した場合は、新鮮な空気のところへ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、飲み込んだトナーを吐き出し、水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲んでください。すみやかに医師に相談し指示を受けてください。

警告および注意ラベルの貼り付け位置



機械に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。
特に「高温注意」「高圧注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となるおそれがあります。



規制について

警告



航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本装置の設置および使用は許されません。
電子機器や医用電気機器に影響を及ぼす場合があります。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内などの使用を禁止されている場所で本装置を使用した場合、法令により罰せられる場合があります。



医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本装置を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本装置（ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271, DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271）を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本装置（ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271, DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271）を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器を装着されている場合は、本装置または本装置のワイヤレスカードシステムのリーダライタ部（アンテナ部）から12cm以上離れて携行および使用してください。
電波により埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。



埋込み型心臓ペースメーカーおよび埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本装置（ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271, DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271）の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

電磁波障害対策自主規制について

注意



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

受信障害について

⚠ 注意



ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

高調波自主規制について

本機器は JIS C 61000-3-2 (高調波電流発生限度値) に適合しています。

電波法について

本製品は、電波法による総務省高周波利用設備型式指定を受けております。

⚠ 警告



本製品から微弱な電磁波が出ています。植込み型医療機器(ペースメーカー等)を装着されている方で、体調に何らかの変化があると感じた時は、本製品から直ちに離れてください。そして、医師にご相談ください。



・本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。

・本製品は工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。

・本製品を分解/改造すること

・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

・本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

・産業・化学・医療用機器

・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局

①構内無線局(免許を要する無線局)

②特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

次のような機器や無線局の近くでは使用しないでください。

・ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等

・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)

・特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

本機の無線チャンネルは上記の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。そのため、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするおそれがあります。



- 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を中止した上、カスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。
- その他、本製品から電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、カスタマーコンタクトセンター、または販売店にお問い合わせください。

SDS (Safety Data Sheet) の提供について

「労働安全衛生法」及び又は「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(PRTR法)に基づき、本機用消耗品の SDS を以下の通り提供いたします。

また、SDS は弊社ホームページにおいても公開しています。

| | | | | | | |
|---|---|------------|-------------|-------------|-------------------------|---------------------|
| 1/4 | | | | | | |
| 安全データシート | | | | | | |
| 整理番号 | : RT122GNJ01 | | | 作成日 | : 2016/6/1 | |
| 1. 化学品及び会社情報 | | | | | | |
| 化学品の名称 | : ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 トナー | | | | | |
| 供給者の会社名称 | : 富士ゼロックス株式会社 | | | | | |
| 住所 | : 〒107-0052 東京都港区赤坂 9-7-3 | | | | | |
| 担当部門 | : [担当部門] カスタマーサティスファクション品質本部 環境商品安全部 [電話番号] 046-237-1686 [FAX 番号] 046-238-5796 | | | | | |
| 2. 危険有害性の要約 | | | | | | |
| GHS分類 : 本製品は、GHS 分類基準上、危険有害性のある混合物には分類されない。 | | | | | | |
| 3. 組成及び成分情報 | | | | | | |
| 化学物質・混合物の区別 | : 混合物 | | | | | |
| 成分および含有量 | : | | | | | |
| 化学名 | 含有量(重量%) | | | | 官報公示 整理番号 化審法/安衛法 | CAS Registry No. |
| | ブラック トナー | シアン トナー | マゼンタ トナー | イエロー トナー | | |
| ポリエステル樹脂 | <90 | <90 | <90 | <90 | 非開示 | 非開示 |
| 酸化鉄(フェライトとして) | 10-20 | <10 | <10 | <10 | 1-357 | 1309-37-1 |
| 酸化マンガン(フェライトとして) | 3.9 | 2.8 | 2.8 | 2.8 | 1-475 | 1344-43-0 |
| パラフィンワックス | <10 | <10 | <10 | <10 | 8-430 | 8002-74-2 |
| カーボンブラック | <10 | <10 | <10 | <10 | 非該当 | 1333-86-4 |
| 青色顔料 | <10 | <10 | - | - | 5-3299 | 147-14-8 |
| 赤色顔料 | - | - | <10 | - | 非開示 | 非開示 |
| 黄色顔料 | - | - | - | <10 | 非開示 | 非開示 |
| 無定形シリカ | <10 | <10 | <10 | <10 | 1-548 | 7631-86-9 |
| 二酸化チタン | <10 | <10 | <10 | <10 | 1-558 | 13463-67-7 |
| 処方成分として、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニル類(PBB 類)、ポリ臭化ジフェニルエーテル類(PBDE 類)、フタル酸ビス 2-エチルヘキシル (DEHP)、ブチルベンジルフタレート(BBP)、ジブチルフタレート(DBP)、およびジイソブチルフタレート(DIBP)を含有しない | | | | | | |
| 4. 応急措置 | | | | | | |
| 吸入した場合 | : 新鮮な空気のところへ移す。多量の水でよくうがいをする。 | | | | | |
| 皮膚に付着した場合 | : 石鹸を使って水でよく洗い流す。 | | | | | |
| 目に入った場合 | : 15 分以上多量の水で洗い流した後、医師の診察を受ける。 | | | | | |
| 飲み込んだ場合 | : 水でよく口の中をすすぎ、多量の水を飲ませる。医師の診察を受ける。 | | | | | |
| 5. 火災時の措置 | | | | | | |
| 消火剤 | : 噴霧水、泡、粉末消火薬剤。ただし、機械内で燃焼した際には、電気製品における火災と同様の方法で消火する。 | | | | | |
| 使ってはならない消火剤 | : 情報なし | | | | | |
| 6. 漏出時の措置 | | | | | | |
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 | : 吸入はできるかぎり避ける。大量にこぼした場合は、必ず当社係員にご連絡ください。 | | | | | |
| 環境に対する注意事項 | : 下水道や河川への漏出を防ぐ。 | | | | | |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 周囲に火種がないことを確認する。少量の場合はほうきで掃き取るか、または石 | | | | | |

ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271

DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 トナー 富士ゼロックス㈱ RT122GNJ01

作成日：2016/6/1

けん水を湿らした布等で拭き取る。大量にこぼした場合は、必ず弊社の
 テレフォンセンター、または販売店にご連絡ください。
 こぼれたトナーは電気掃除機で吸い取らないこと。(掃除機を用いると微粒子の
 トナーが掃除機内部に充満し、電気接点の火花などにより、発火または爆発す
 るおそれがある)

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
 局所排気・全体換気 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
 注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。
 安全取り扱い注意事項 : 火中に絶対に投じない。カートリッジをこわしたり、分解したりしない。

保管

- 技術的対策 : 必要なし
 適切な保管条件 : 直射日光を避け、乾燥した換気のよいところに、低温で保管する。子供の手の届くところに保管しない。
 安全な容器包装材料 : 当社の容器包装材料を使用すること。

8. ばく露防止及び保護措置

- 設備対策 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。
 管理濃度 : 設定されていない。
 許容濃度 : 日本産業衛生学会 第3種粉塵 8 mg/m³ (総粉塵)
 (2015年版) 2 mg/m³ (吸入性粉塵)
 ACGIH(2015年版) 粒子状物質 10 mg/m³ (総粉塵)
 3 mg/m³ (吸入性粉塵)
 保護具 : 当社指定機器で通常取り扱う場合は必要なし。

9. 物理的及び化学的性質

- 外観 : 粉体
 色 : ブラックトナー:黒色、シアントナー:青色、マゼンタトナー:赤色、イエロートナー:黄色
 臭い : 微かなプラスチック臭
 pH : 適用外
 融点/凝固点 : データなし
 沸点、初留点と沸騰範囲 : 適用外
 引火点 : 適用外
 自然発火温度 : 発火性なし
 燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : データなし
 蒸気圧 : 適用外
 蒸気密度 : 適用外
 比重 : データなし
 溶解性 : 不溶(水)
 オクタノール/水分分配係数 : 適用外
 分解温度 : データなし
 粘度 : 適用外

10. 安定性及び反応性

- 安定性/反応性 : 安定
 危険有害反応可能性 : 可能性なし

ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271

DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 トナー 富士ゼロックス㈱ RT122GNJ01

作成日：2016/6/1

避けるべき条件 : 特になし
 混触危険物質 : 特になし
 危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

急性毒性 (50%致死量)

| | |
|-----------------------|---|
| 経口→LD50(ラット) | : >2000 mg/kg (実質上無毒) |
| 経皮→LD50 | : データなし |
| 皮膚刺激性(ラビット) | : 刺激性なし |
| 皮膚腐食性 | : 腐食性なし |
| 眼に対する重篤な損傷又は刺激性(ラビット) | : ブラックトナー: 刺激性なし(印字成分)、イエロートナー: 軽度の刺激(印字成分)、マゼンタトナー/シヤントナー: 最小の刺激(印字成分) |
| 呼吸器感受性又は皮膚感受性(マウス) | : 皮膚感受性なし |
| 生殖細胞変異原性 | : AMES 試験 陰性 |
| 発がん性 | : カーボンブラックは、国際がん研究機関(IARC)によって「グループ 2B(ヒトに対して発癌性があるかもしれない)」に分類される。しかし、カーボンブラックを含有するトナーに対するラットの長期吸入暴露試験では、「発癌の証拠なし」の結論を得ている。 二酸化チタンは国際がん研究機関(IARC)の発がん性分類で、グループ 2B に分類される。動物実験では、ラットのみ肺腫瘍が認められた。これは、ラットの肺クリアランスメカニズムの過負荷(オーバーロード現象)によるもので、本製品の通常使用時にはあり得ないと推察される。呼吸器の疾病と二酸化チタンの作業暴露との関係は、これまでの疫学調査で認められなかった。 なお、カーボンブラックおよび二酸化チタン以外の構成成分は発がん物質(文献1)に該当しない。 |
| 生殖毒性 | : 生殖毒性及び発生毒性物質(文献2)を含有せず。 |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露) | : データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露) | : ラットを用いた2年間にわたるトナー吸入暴露試験において、毎日、中用量(4 mg/m ³)もしくは高用量(16 mg/m ³)の暴露環境にさらされていた群で、肺に軽度の線維症が観察されたが、低用量(1 mg/m ³)の群については、肺に特別な変化は認められなかった。当社商品の通常の使用に伴って排出されるトナー量は、1日当たり1mg/m ³ を大幅に下回っており、製品を日常的に使用する限りでは人体への影響はないと判断している。 |
| 吸引性呼吸器有害性 | : 対象外 |
| その他 | : データなし |

12. 環境影響情報

以下のデータは、本製品の試験結果、もしくは類似物の試験結果からの予測である。

生態毒性

| | |
|--------------------------|--------------------|
| 急性毒性 魚類 96 時間 LL50(ヒメダカ) | : > 500mg/L(実質上無毒) |
| ミジンコ類 48 時間 EL50(オオミジンコ) | : > 100mg/L(実質上無毒) |
| 藻類 72 時間 ErL50(ムレミカヅキモ) | : > 100mg/L(実質上無毒) |
| 残留性/分解性 | : データなし |
| 生体蓄積性 | : データなし |
| 土壌中の移動性 | : データなし |
| 他の有害影響 | : データなし |

ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271

DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 トナー 富士ゼロックス㈱ RT122GNJ01

作成日：2016/6/1

13. 廃棄上の注意

適切な処理が必要なので、必ず弊社のカスタマーコンタクトセンター、または販売店に渡すこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

| | |
|--|----------|
| 海上規制情報 | : 非危険物 |
| 国連番号 | : 非該当 |
| 海洋汚染物質 | : 適用されない |
| MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 | : 適用されない |
| IBC コード | : 適用されない |

国内規制

| | |
|--------|------------|
| 海上規制情報 | : 非危険物 |
| 航空規制情報 | : 非危険物 |
| その他の情報 | : 規制されていない |

15. 適用法令

| | |
|-----------------------|---|
| 化学物質排出把握管理促進法 | : 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)マンガン及びその化合物(政令番号:412)マンガンとして(ブラクトナー:3.0%、シアントナー:2.2%、イエロートナー:2.2%、マゼンタトナー:2.2%) |
| 労働安全衛生法 | : 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9) 固形パラフィン(政令番号:170)、シリカ(政令番号:312)、銅及びその化合物(政令番号:379)、カーボンブラック(政令番号:130)、酸化チタン(IV)(政令番号:191)、マンガン及びその無機化合物(政令番号:550)、酸化鉄(政令番号:192) |
| 化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 | : 非該当 |
| 毒物及び劇物取締法 | : 非該当 |
| 消防法 | : 非該当 |

16. その他の情報

本製品安全データシートは現時点で入手できた情報に基づいて作成しておりますが、構成成分やデータ・評価内容を保証するものではありません。危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには十分ご注意ください。また、内容を当社の許可なく一方的に改定・使用され、何らかの事故が発生した場合は、当社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

CAS Registry Number (R) is a Registered Trademark of the American Chemical Society.

引用文献

- (文献1) : ・IARC Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans (WHO.IARC:国際癌研究機関)
 ・National Toxicology Program(NTP) Report on Carcinogens (NTP:米国・国家毒性プログラム)
 ・TLVs and BEIs (ACGIH:米国・政府産業衛生専門家会議)
 ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令67/548/EECと1999/45/ECを改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP規則)
 ・日本産業衛生学雑誌(日本産業衛生学会)
- (文献2) : ・物質及び混合物の分類・表示・包装、及び指令67/548/EECと1999/45/ECを改正・廃止、また規則(EC)No1907/2006を改正することに関する規則(EC)No1272/2008(CLP規則)

環境について

- 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271, DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271 トナーを使用し、試験方法 Blue Angel RAL UZ-171:2012 の付録 S-M に基づき試験を実施しました。）
- サポートについて
弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。
- 回収したトナーカートリッジまたはドラムカートリッジは、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となったトナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、適切な処理が必要です。トナーカートリッジおよびドラムカートリッジは、無理に開けたりせず、必ず弊社または販売店にお渡しください。
- 機器の稼働音が気になる場合は、壁や仕切り等で区切られた場所に設置されることをお勧めします。
(表示 A 特性音響パワーレベル LWAd が 63dB を超える場合は音が気になると思われます。本商品の稼働音を数値で確認されたい場合は、弊社までお問い合わせください。)

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
 2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - 役所または公務員の印影、署名、記名。
 - 私人の印影または署名。
 3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合 ※ を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。
 - (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
 - (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
 - (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。
- ※ 法律に定める例外にあたる場合の例
- 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とし複製する場合。
 - 国立図書館、私立図書館、学校附属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
 - 学校その他教育機関において教員または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

注意制限事項について

本機を使用するうえでの注意、および制限について説明します。

本機使用上の注意 / 制限

■ 電源・主電源を切るときのご注意

電源スイッチを切ったあとも、しばらくの間は本機内部で電源オフ処理をしています。従って、電源スイッチを切った直後に主電源を切らないでください。タッチパネルディスプレイ画面が表示されているとき、または〈節電〉ボタンが点滅しているときは、主電源を切らないでください。ハードディスクやメモリーが破損したり、故障の原因になることがあります。また、電源を切ったあと、画面表示が消える前に電源スイッチを入れても、すぐに起動しません。電源を入れる場合は、操作画面の表示が消えたことを確認してから電源スイッチを入れてください。

■ 主電源ランプについて

主電源を切っても、すぐには電源ランプは消灯しません。消灯までに 40 秒程度かかります。

■ 節電状態からの操作について

- 本機では、[節電解除の制御] の初期値が [使用する部分のみ解除する] に設定されています。

参照

- 設定については、『管理者ガイド』を参照してください。
- スリープモードから復帰後、仕様設定の操作が可能になるには、数秒がかかります。
- タッチパネルディスプレイの点灯が必要ない操作（コンピューターからのプリント指示など）をした場合、〈節電〉ボタンは点灯したままになります。
- スキャナーを使用するサービスが選択されていない状態などのように、原稿送り装置に通電されていない状態で原稿送り装置の上面カバーを開閉しても、タッチパネルディスプレイにメッセージは表示されません。ただし、上面カバーを開いた状態で、通電する（節電を解除する）とタッチパネルディスプレイに、確認メッセージが表示され、〈エラー〉ランプが点灯します。
- 原稿ガラスでコピーおよびスキャンをするために、節電中に原稿カバーを開けた場合、節電を解除します。

参照

- Smart WelcomEyes が稼働していても、人を検知できない領域から機械に近づいた場合、機械は節電状態のままとなります。
- 節電解除後、原稿読み取り装置が通電されていない状態で原稿カバーを開けた場合、原稿読み取り装置および原稿送り装置に通電されます。ただし、原稿ガラスで原稿検知が可能になるためには、原稿ガラス内の原稿読み取り部が、原稿サイズ検知位置に移動するのを確認してから原稿カバーを閉じてください。
- 節電復帰後、コピー、セキュリティープリント出力などの出力装置を使用するサービスが選択されていない状態で次の操作をしても、タッチパネルディスプレイにメッセージは表示されません。
 - 原稿送り装置の上面カバーの開閉
 - 正面カバーの開閉
 - 左側面下部カバーの開閉
 - 用紙トレイの引き出し

- フィニッシャーのフロントカバーの開閉、ボタン押下など、すべての操作

ただし、各カバーを開いたまま、または用紙トレイを引き出したままの状態では通電する（節電を解除する）と、確認メッセージが表示され、〈エラー〉ランプが点灯します。

- 節電解除後、出力装置を利用する機能が実行されていない状態では、トナー残量やドラムの状態、用紙などの消耗品関連の情報と、用紙トレイの状態は、節電状態に入る前に検知した値を表示または通知します。
- 節電解除後、出力装置を利用する機能を実行する前にコピー機能を利用する場合、次の点に注意してください。用紙トレイにセットされている用紙サイズや残量などの情報は、節電に入る前の情報が表示されています。節電中に用紙サイズ、残量を変更した場合、画面に反映されるまでに数秒かかります。
- タッチパネルディスプレイの初期表示画面に、コピー、らくらくコピー、ジョブメモリー、音声ナビを設定している場合は、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- トレイセット時の用紙変更画面表示が「する」に設定されている場合は、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- 〈機械確認〉ボタン操作時、機械管理者モード移行時、ジョブメモリー選択時には、本機全体が節電解除されます。
- EP-DX による EP サービス利用時は、スリープモードが解除され、本機全体が節電解除されます。EP-BB による EP サービス利用時は、スリープモードは解除されません。
- [仕様設定 / 登録] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [USB] > [USB-プリントモード指定] を [自動] 以外に設定しているときは、節電状態が解除されると、本機全体が節電解除されます。
- ContentsBridge Utility のジョブチケットを使って、セキュリティープリント実行した場合、出力装置にも通電されます。

コピー機能使用上の注意 / 制限

■ 白黒原稿 / カラー原稿混在時の N アップ機能とメーターのカウンタについて

白黒とカラーが混在した原稿を [まとめて 1 枚 (N アップ)] でコピーした場合、白黒ページとカラーページが 1 枚になったページは、カラーページとしてカウントされます。

■ 両面プリントでのメーターのカウンタについて

両面プリントする場合、使用しているアプリケーションによっては、部数を指定するときの条件などにより、自動的にページ調整の白紙を挿入することがあります。このときにアプリケーションが挿入する白紙出力は、カウンタアップの対象となります。

■ 透かし印字でのメーターのカウンタについて

複製管理拡張キットを利用して原稿に透かし印字（アノテーション、強制アノテーションなど）をした場合、メーターのカウンタは次のようになります。

- カラー原稿の場合は、透かし印字の有無にかかわらず、カラーコピーでメーターがカウントされます。
- 白黒原稿の場合は、透かし文字をカラーで指定していればカラーでカウントされ、白黒で指定していれば白黒でカウントされます。

■ 2色コピー / 単色コピー時のメーターカウントについて

2色カラーコピー、単色カラーコピーは、カラーコピーでメーターがカウントされます。

■ カラーモード [自動] について

コピー機能でカラーモードの [自動]、プリンター機能でカラーモードの [カラー (自動判別)] を選択した場合、原稿が白黒であっても、イエロー、マゼンダ、シアンのドラムやトナーを消耗する場合があります。

また、[仕様設定] > [共通設定] > [その他の設定] > [カラーモード自動時の印刷動作] で [速度優先] を選択した場合は、常にイエロー、マゼンダ、シアンのドラムやトナーが使用されるため、白黒の原稿であっても、イエロー、マゼンダ、シアンのドラムやトナーが消耗します。

ファクス機能使用上の注意 / 制限

■ ファクスの対応機能について

本機は、以下の機能には対応していません。

- ISDN 接続
- G4 通信
- 中継同報の中継局機能
- ワイルドカード (*) による全宛先指定
- 増設回線での通話機能

■ 光回線や IP 電話回線におけるファクス通信について

当社製品は、NTT のアナログ回線規格に準拠しています。お客様が利用している (または、これから利用しようとしている) 回線が、光回線や IP 電話回線の場合には、伝送路の回線品質 (パケットロス、エコー、遅延など) により、ファクス通信がエラーになることがあります。その場合は、回線事業者にお問い合わせください。

■ F コード通信で対応している機能について

F コード通信で対応している機能は、親展送信、親展ポーリング、親展受信文書、中継同報、リモート中継同報だけです。

■ 中継同報機能について

本機には、中継指示局の機能はありますが、中継局の機能はありません。

本機は G4 通信に対応していませんが、中継局が G4 通信に対応している場合は、中継同報指示として、中継局が行う G4 通信の機能を選択できます。

認証 / 集計管理機能使用上の注意 / 制限

■ 外部認証について (ApeosPort シリーズのみ)

- 外部認証の場合、プリントおよびダイレクトファクスの利用制限はできません。プリントは、認証プリントまたはプライベートプリントで運用してください。ダイレクトファクスはセキュリティーの問題がある場合は、ダイレクトファクスを禁止してください。ダイレクトファクスを禁止に設定したい場合は、弊社のカスタマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。
- 外部認証に変更する場合、または外部認証からほかの認証モードに変更する場合、本機に登録されたユーザー情報、個人の親展ボックス、およびジョブフローが削除されます。

■ ジョブ操作の設定に関するご注意

[仕様設定] > [認証 / セキュリティ設定] > [ジョブ操作の設定] で、ジョブの表示をしない設定にした場合、自分が実行したジョブを止めたり、削除したりできなくなります。そのため、コピー操作やファクスご送信の場合でも、自分でジョブをキャンセルできません。

「困った！」が 解決しないときは

保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、消耗品のご注文は、カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

電話番号は、機械本体に貼付のカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く **9時～17時30分**（一部の地域では異なります）

電話番号 機械本体の **貼付カード** をご確認ください。

カードの例①

保守・操作の問い合わせ
(テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記電話番号をお伝えください。
機種
機械 No.
メーター連絡票に記載される機種コード
FUJI XEROX

ここに書いてあります

電話番号

保守・操作の問い合わせ (テレフォンセンター)
TEL.
FAX.
用紙・消耗品のご用命 (商品センター)
TEL.
お手数ですが電話口の係員に下記の番号をお伝えください。
機種 機械 No.
メーター連絡票に記載されている機種コード
S-3064

カードの例②

FUJI XEROX
保守・操作のお問合せ
消耗品のご用命は
裏面の電話番号へご連絡ください

- カードは、名刺くらいの大きさです。
- 色やイメージが、イラストと異なる場合もあります。
- 問い合わせ先がわからない場合は、お客様相談センターで電話番号を確認してください。

- 本機を廃棄する場合は、弊社の営業担当者にご連絡ください。

ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター 電話：0120-27-4100（通話料無料）
FAX：0120-05-5035（通話料無料）

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

商品全般に関する情報

公式サイト [URL http://www.fujixerox.co.jp/](http://www.fujixerox.co.jp/)

- 商品全般に関する情報、最新ソフトウェアなどを提供しています。

ApeosPort-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271
DocuCentre-VI C7771/C6671/C5571/C4471/C3371/C2271
はじめにお読みください

著作者 — 富士ゼロックス株式会社
発行者 — 富士ゼロックス株式会社

発行年月 — 2016年 11月 第1版

DE6044J1-3